

国際会議に参加しよう。

世界中に弁護士ネットワークを広げ、最先端の議論に触れてみませんか

国際会議への若手会員参加補助制度を実施しています!

国内開催の会議やオンライン会議も対象です。オンライン参加する場合の参加補助の応募は通年で受け付けています。
※会議によっては、中止またはオンライン開催への変更の可能性もあります。

AIJA

International Association
of Young Lawyers
若手法曹国際協会

[45歳以下の法曹等を会員とする法曹団体]
ヨーロッパ諸国を中心に、90か国約4000人が加盟しています。

**第60回 年次大会
in シンガポール**

2022年8月22日～27日

ABA

American Bar Association
米国法曹協会

[世界に会員をもつ全米最大の法曹団体]
35万人を超える個人と3500以上の団体を会員とし、継続
研修や司法制度改革、弁護士業務規範規則の制定等、幅広い
活動を行っています。大会では、公益・ビジネスを含む多
彩なセッションが開催されます。

**国際法セクション年次大会
in ワシントンDC (米国)**

2022年4月26日～29日

年次大会 in シカゴ (米国)

2022年8月3日～9日

IBA

International Bar Association
国際法曹協会

[世界最大の法曹団体]
約8万人の世界各国の法曹、190以上の法曹団体が加盟しています。ピ
ジネスロー・人権・弁護士会運営等、あらゆる分野を取り扱っています。
年次大会は、数千名規模の参加者が集まります。

2022年 年次大会 in マイアミ (米国)

2022年10月30日～11月4日

UIA

International Association of
Lawyers
国際弁護士連盟

[多言語・多文化主義を掲げる世界規模の法律家の団体]
1927年に設立された国際法曹団体で、1500人以上の個人会員と150
を超える国の弁護士会が加盟しています。大会では、英語だけでなく、フ
ランス語、スペイン語も使用され、UIAが謳う「多言語・多文化」の理念を
実感できます。

**第66回 年次大会
in ダカール (セネガル)**

2022年10月26日～30日

年次大会の登録費に関しては、若手会員に限らず割引価格で参加できる
可能性があります。

IPBA

Inter-Pacific Bar Association
環太平洋法曹協会

[アジア太平洋の企業法務に特化]
アジア・太平洋地域の法曹の交流と、企業法務や商事法務
に関する専門知識の共有等を目的とする法曹団体です。
年次大会には、毎年1000人規模の参加があります。各
種イベントの詳細についてはIPBAのウェブサイトをご確
認ください。

LAWASIA

The Law Association
for Asia and the Pacific
アジア太平洋法律家協会

[アジア太平洋の法律問題を広くカバー]
アジア太平洋地域における法の支配の確立や、法曹の連
携強化等を目的とする国際法曹団体です。年次大会では、
国際人権、家族法、環境問題、企業法務、ADR等多彩な
テーマのセッションが開かれます。
年次大会の日程詳細についてはLAWASIAのウェブサイト
をご確認ください。

JFBA 日本弁護士連合会

※記載の会議以外にも派遣制度の対象となる会議がたくさんあります。

また、年度途中に個別の国際会議に関する支援制度を設けることがありますので、会員サイトでご確認ください。

※開催時期・開催地については、本紙作成時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止またはオンライン開催への変更の可能性もあります。オンライン会議についても、本制度による費用補助が適用される可能性がありますので、詳細は会員サイトをご確認ください。

お問合せ ● 日本弁護士連合会企画部国際課 ☎03 (3580) 9741 / international@nichibenren.or.jp
<https://www.nichibenren.or.jp/activity/international/member/conference.html>

詳細は日弁連ウェブサイトへ

[日弁連](#) [国際会議に参加しよう](#) [検索](#)

オンラインフォームから
応募可能





掲載されている会議例以外にも、
オンライン会議や国内開催の会議に
参加する場合も費用補助の対象となります！

ABA 米国法曹協会

American Bar Association

●2022年 年次大会 inシカゴ (米国)

2022 ABA Chicago



●国際法セクション 年次大会 inワシントンDC (米国)

2022 ABA ILS Annual Conference



AIJA 若手法曹国際協会

International Association of Young Lawyers

●第60回 年次大会 inシンガポール

AIJA Singapore Congress 2022



IBA 国際法曹協会

International Bar Association

●2022年 年次大会 inマイアミ (米国)

IBA Miami 2022



UIA 国際弁護士連盟

International Association of Lawyers

●第66回 年次大会 inダカール (セネガル)

UIA 66th Congress



LAWASIA アジア太平洋法律家協会

The Law Association for Asia and the Pacific

LAWASIA Conferences and Events



IPBA 環太平洋法曹協会

Inter-Pacific Bar Association

IPBA Upcoming Events



その他の国際会議の例

St. Petersburg International Legal Forum

開催地: サンクトペテルブルグ (ロシア)

日程等の詳細は St. Petersburg International Legal Forum のウェブサイトでご確認ください。



上記以外の対象会議の例は
こちらからご確認ください→



VOICE

- 様々なセッションに参加し、各国の弁護士と情報交換することで、各国の法制度の概要や実務知識を得ることができた。特定の分野に特化した限定的な知識ではあるが、知識に実感感覚を伴えることができ、総論的な講義で得るものよりも使える知識になったと感じている。今後の弁護士会等での活動で会員らと共有していきたい。
- 地方の弁護士にとっても、渉外案件に対応することが必要不可欠となってくる。国際会議に参加し、多くの外国人弁護士と交流したり、最先端の議論についての講義を受講したりすることは、弁護士個人の能力向上のために非常に重要である。
- 日本の弁護士も、もっと他地域の弁護士と交流し、日本の独自な点 (例えば原発事故被害、災害対応、薬害訴訟等) は海外にも紹介して、異なる分野の実践からも学び合った方がよいのかもしれないと感じた。
- 女性差別、権力にあらがう弁護士の保護が、今なお喫緊の課題であると感じた。実務家としての事件活動やプロボノ活動のほか、国際法律家団体に入って一員として、UIA や LAWASIA が行う連携・支援に参画することも、一手段であると分かった。
- 各セッション間の休憩時間や昼食時に、様々な国 (中国、香港、韓国、カンボジア、インド、スリランカ等) の弁護士や法律家の方と交流できた。その中で、日本と中国等の法律の違い (中国での民事執行の迅速さ、返済できずに法的手続をとると、日本以上の不利益があること等) について話げできた。
- 参加したスポーツ法のセッションは、今後日本のスポーツ選手やスポーツ業界が直面していく問題を取り上げるものであった。今年は日本のスポーツ界でもコーチや競技団体によるパワハラ問題がいくつも報道されたが、セッションに参加して、世界はスポーツ選手の保護や契約問題について何歩も先に進んでいることがわかった。